

ま え が き

はじめに、1月1日に発生しました、石川県能登地方を震源とする地震につきまして、犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆様にお見舞い申し上げます。

令和5年度は新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に変更され、様々な活動が再開する年でありました。国立登山研修所においても、第5期中期計画期間がスタートし、山岳関係機関等とのさらなる協力連携体制の構築、調査研究事業の充実、情報発信としてのデジタル化の促進を目標にして、登山界のニーズを踏まえた施設運営と研修事業等による安全な登山に向け、一層の充実を図りたいと思います。

また、老朽化した本館やロッククライミング施設等について、長寿命化や新たな機能を付加するための改修工事を実施する経費について、12月に決定された国の補正予算にて計上されたところです。

さて、「登山研修vol.39」では、登山に関する調査研究や登山界の現状や課題に加え、スポーツクライミング、パラクライミングに関する記事について寄稿いただきました。

より多くの皆様に読んでいただくことを期待すると同時に、安全な登山の普及・発展に繋がることを祈念いたします。

末筆になりましたが、御多用中にもかかわらず玉稿をお寄せいただきました執筆者の方々並びに編集委員の皆様には厚くお礼を申し上げます。

令和6年3月

国立登山研修所長 米 山 隆